元気いっぱい!

高千帆小学校　園芸委員会

高千帆小学校は，一人一鉢運動に全校で取り組んでいる“花いっぱい運動”の盛んな学校です。校庭には，ポーチュラカやバーベナなどを植えた鉢がいくつも並び，色とりどりの花が咲く光景に心がなごみます。このような学校あげての取り組みで，中心的役割をになっているのが，5・6年生19人で活動している園芸委員会のみんなです。委員長の大空祐輔君（6年）は，「夏休みも当番を決めて水やりや草取りをして育ててきたから，やっぱり花がきれいに咲いたときが一番うれしい。」と，サルビアが咲く花だんの前でにっこり。これからは，種取りを終えた花を抜き，次の花を植えるための土づくりに取りかかります。

11月11日～12日に校内で開催された『フラワーフェスティバル』では，育てた花の苗を地域の人たちに配って，たいへん喜ばれました。「花を育てた時の優しい気持ちを持ち続けてほしい」という園芸委員みんなの願いは，きっと多くの人たちのもとへ届いたことでしょう。

▲サルビアの種取り。来年またきれいな花が咲きますように…。

▲フラワーフェスティバルに向けた発表練習。クイズ形式で活動を紹介します。

夢いっぱい!

「大会参加でプラスの刺激をたくさん受けました」

ごはんCUP決勝大会に出場した

林万世佳（まよか）さん・東由佳（ひがし）さん・福田まなみさん

（ともに厚狭高校2年，写真左から）

厚狭高校食物文化科2年の福田さん，東さん，林さんの三人が，11月19日～21日に東京都で開催された『全国高校生対抗ごはんCUP2005』決勝大会に出場しました。この大会は，農産物を生産する高校生チームと食に関心をもち調理を行う高校生チームとが，インターネットを介してユニットを組み，食へのこだわりを発表と調理の形式で競うものです。惜しくも入賞はのがしたものの，「高校生同士で“食”や“農”について語り合うことができ，貴重な経験でした。」と，チームリーダの福田さんは大会を振り返りました。

福田さんたちは，「活発な活動に魅かれた」という熊本県立鹿本（かもと）農業高校の生徒3人と7月中旬にチーム『HAHAHA☆炊飯ジャー』を結成。“現代を生きる高校生と食べたい晩ごはん”をテーマに，鹿本農高生が無農薬・無化学肥料でつくったお米や野菜，果物などを利用し，全8品のメニューを考案しました。「こだわりはやっぱり主食のお米でした。鹿本農高生が合鴨農法で育てたお米は，弁天池の湧き水を使って土鍋で炊き上げると，芯までふっくらと炊けることを発見したんですよ。」と，試行錯誤の成果について話す福田さん。食材選びや調理法の工夫は，食べる相手への想いからこだわったものですが，結果的に彼女たち自身の食に対する意識を高めることにもつながったようです。

「この料理を食べることで，現代の高校生に自分の食生活を見直し，身体によい食事を摂ることの大切さに気づいてほしい。」と語る彼女たち。大会での健闘ぶりは，NHK総合テレビで，12月17日㈯16時半から放送される予定です。